

東北観光基本計画

取り組むべき施策

- 1 . 競争力の高い魅力ある観光地の整備
(答申「第 4 章 1 」)
- 2 . 観光産業の競争力強化と人材の育成
(答申「第 4 章 2 」)
- 3 . 外国人観光客の来訪及び国際相互交流の促進
(答申「第 4 章 3 」)
- 4 . 東北地方への来訪促進のための環境整備
(答申「第 4 章 4 」)



東北地方の観光に関する目標の達成状況

「東北観光基本計画」に位置づけられた5つの目標に対する達成状況は、下表に示すとおりとなった。

表 東北地方の目標とその達成状況

目標	基準値	平成19年	平成20年	平成21年	目標値
東北6県における訪日外国人旅行者数	平成18年 35.3万人	40.2万人	34.6万人	-	平成22年 50万人
東北6県における国際会議の開催件数	平成17年 4件	2件	8件	-	平成23年 5割以上増
東北6県における宿泊者数 ¹	平成18年 3,174万人 (2,884万人 ²)	2,913万人	2,799万人	-	平成22年 3,600万人 (3,276万人 ³)
東北6県における観光旅行消費額 ⁴	平成18年度 2兆円 (1.2兆円)	- (1.2兆円)	- (1.3兆円)	-	平成22年度 2.3兆円
東北6県における外国語対応が可能な「ビジット・ジャパン案内所」	平成19年 32箇所	32箇所	33箇所	33箇所	平成23年 39箇所

- 1 平成18年は各県観光統計、平成19年は国土交通省観光経済課「宿泊旅行統計」による。なお、目標値(平成22年)は平成18年までの取得方法に基づき設定されている。
- 2 山形県及び福島県では、平成19年から「宿泊旅行統計」へ移行し従来の統計手法によるデータ取得ができないため、従来の統計手法で得られた他の4県の平成18年と平成19年を比較し算出した比率を基にした推計値である。
- 3 平成18年の基準値と2の推計値とを比較し、得られた比率を基にした推計値である。
- 4 観光旅行消費額について平成19年は山形県及び福島県のデータがないため平成18年と比較できない。()内は山形、福島を除く4県分合計。また、各県の算出方法が統一されていないため、参考値である。



1. 競争力の高い魅力ある観光地の整備

大目標	中目標	施策	平成21年度的主要実施施策	施策実施による効果
競争力の高い魅力ある観光地の整備	競争力の高い魅力ある観光地の整備	「東北ならではの」の観光魅力の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・「おくのほそ道研究会」を発足 ・『地旅』エントリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地旅」エントリーによる販路の拡大(5,700社で発売可能)
		「東北観光ブランド」の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「こころもあつたまる冬の秋田路キャンペーン」の実施 ・太宰治生誕百年のロゴマーク、冬季のキャンペーンロゴの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東北が一丸になった観光振興」の他地域への浸透
		「地域づくり」の視点からの観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ・喜多方市における地域資源をプログラム化した喜楽里博の開催 ・地域活動団体の調査(200団体)等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏を中心とした「仙台・宮城」のブランド力向上
		「連携」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「天地人」を活用した新潟・山形県との連携 ・「青森の旅・十和田湖広域観光圏」の認定 ・「日本海きらきら羽越観光圏」の認定、「めでためでた花のやまがた観光圏」採択に向けた取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「天地人博」への観光客誘致(515千人/353日間)
		東北地方の観光地全体のレベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・「豪州市場研究会」「MICE推進」「インバウンド促進セミナー」等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・入込み客数の増加(山形県 21年4月~9月) (庄内地域 5.1%増 置賜地域 28.1%増)
	観光資源の活用	文化財・歴史的風土	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化資源等の観光ボランティアガイド県大会の継続実施 ・「仏教会津」をメインテーマとしたキャンペーンの実施 	-
		優れた自然の風景地	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道等、自然公園施設の整備 ・自然環境保護活動に対する支援の実施 	-
		良好な景観	<ul style="list-style-type: none"> ・農村景観を維持するNPO法人に対するアドバイザーの派遣 ・六十里街道広域連携プロジェクトの実施 ・棚田や森林を活用したモニターツアーの実施支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー実施地域での関係者の意識向上
		温泉その他の文化・産業等	<ul style="list-style-type: none"> ・地元食材を活用した料理の提供の促進 ・観光地づくりアドバイザー派遣による温泉地の魅力アップ ・八戸あさぐるの商品化 ・湯治体験モニターツアーの実施支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導を受けた観光地での活動の活発化
	交通施設の総合的な整備	高速交通体系の充実・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・山形空港ライナーの運行 ・JRリゾート列車とストープ列車接続について利便性改善の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・リゾート列車の人気上昇による接続客の増加
		高速交通体系以外の旅行者の移動手段の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・無料レンタサイクルの実施 ・EVカーシェアリング、コミュニティサイクルの推進 ・観光タクシーと列車を使った観光地の回廊 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティサイクル導入による利用者および滞在時間の増加
		各交通手段における「もてなしの心」の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・新型リゾート列車の運行に伴う受入体制を検討する準備会の開催 ・庄内藩レトロバスの運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客による利用(レトロバス利用者約千人/7~12月土日祝)

【施策実施状況に関する評価】

東北の独自の観光資源を活用した取り組みが各地で実施されている。

また複数自治体の共同実施や異なる交通手段の組合せなど、複数の団体が連携した取り組みもみられる。

中目標におけるアウトカム指標評価結果				大目標におけるアウトカム指標評価結果			
アウトカム指標 (施策の代表指標)	平19	平20	平21	アウトカム指標	平19	平20	平21
【代表指標】 観光圏認定数 (出典)東北運輸局	-	3	5	東北6県の 観光旅行 消費額 (億円) (出典) 各県観光統計	12,174	13,633	-
【参考指標】 観光入込客数 (出典)各県統計情報	287 (百万人)	278 (百万人)	-				
主要な夏祭り来訪者数 (青森ねぶた・岩手さんさ・仙台七夕・ 秋田竿灯・山形花笠・福島わらじ) (出典)各県市統計情報	8,890 (千人)	8,923 (千人)	-				
観光資源評価 A 級以上の自然系資 源における来訪者数 (出典)各県市統計情報	27,431 (千人)	28,228 (千人)	-				
蔵・曲がり家等の観光地来訪者数 (蔵:喜多方市、曲がり家:遠野市) (出典)各県市統計情報	1,349 (千人)	1,401 (千人)	-				
数字で見る観光「最も行ってみたい温 泉地ベスト50」掲載温泉地来訪者数 (出典)各県市統計情報	6,659 (千人)	6,240 (千人)	-				
新幹線利用者数 (出典)JR東日本	85 (百万人)	82 (百万人)	-				
東北各空港利用者数(チャーター便 を含む) (出典)東北運輸局・各県統計情報	7,919 (千人)	7,099 (千人)	-				
仙台空港アクセス鉄道利用者数 (出典)仙台空港鉄道株式会社	2,544 (千人)	2,375 (千人)	-				
東北地方居住者の渡航率 (出典)出入国管理統計、住民基本 台帳より東北運輸局推計	4.9 (%)	4.4 (%)	-				

【アウトカム指標達成状況に関する評価と今後の取組方向性(案)】

山形県、福島県を除く東北全体の観光旅行消費額(合計)は増加したものの、中目標の各指標値は減少している項目が多く、一層の取組が必要である。

2. 観光産業の競争力強化と人材の育成

大目標	中目標	施策	平成21年度の主な実施施策	施策実施による効果
観光産業の競争力強化と人材の育成	観光産業の競争力の強化	マスコミ・メディア効果、「口コミ」情報の活用、リピーター需要の重視	<ul style="list-style-type: none"> ・香港でのテレビ宣伝事業の実施 ・観光博覧会への出展、首都圏での観光物産展へ出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・香港において宣伝番組の高視聴率獲得による認知度の向上
		「マーケティング」「事後評価」に基づく事業設計	<ul style="list-style-type: none"> ・国内大都市圏及び海外（東アジア）マーケット調査・満足度調査の実施 ・観光動向調査の実施 ・「地域観光マーケティング促進セミナー」等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の増加による施策評価等への反映（5件）
		国内旅行における西日本・首都圏からの誘客促進	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田での観光プロモーションの実施 ・首都圏JR主要駅でのパネル展示 ・福島空港就航先（大阪）におけるプロモーション 	-
		教育旅行の誘致促進	<ul style="list-style-type: none"> ・各地における教育旅行説明会等の実施 ・子ども農山漁村交流プロジェクトの受入体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外からの教育旅行の増加（山形県 79千人泊、2.1%増）
		国内旅行における小グループ化の進展に伴う旅行ニーズ変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域紹介観光ボランティアガイド全国大会（奈良）」への参加 ・体験交流メニューの提供 	-
		季節変動の大きさを解消するための冬季の観光振興対策の強化とハイシーズン対策	<ul style="list-style-type: none"> ・「蔵王の樹氷」をテーマにした台湾、香港からの誘客 ・海外の旅行会社・マスコミに向けた「東北の冬」をテーマとした招聘事業、情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の増加（台湾 山形）
		旅行商品の造成	<ul style="list-style-type: none"> ・第三種旅行業者と地域組織を対象とした講座の開設 ・地元が企画する「山形の旅」コンテストの実施 ・地域からの提案に基づいた、モニターツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域発案の旅行商品の増加（山形県 127企画）
		宿泊産業の競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・旅館・ホテルでの泊食分離事業 ・伊達な広域観光圏の宿泊部会における旅行商品の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・泊食分離による広域連携、観光振興の施策の展開
	人材の育成	大学等高等教育機関	<ul style="list-style-type: none"> ・東北学院大学との連携による、奥州市、一関市の中心市街地の活性化事業の実施 ・東北学院大学経営学部とのおもてなしの勉強会の開催 	-
		ボランティアガイド等	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイド講習の実施 ・仙台の街なかを案内する観光ボランティアの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし意識の向上
		観光の担い手	<ul style="list-style-type: none"> ・県、市町村、民間観光団体等の連携組織によるプロモーション ・観光まちづくりフォーラム開催、ワークショップの試行 ・スパリゾートハワイアンズでの観光カリスマ塾の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光人材の発掘・育成、全県下でのネットワークづくりの進展

【施策実施状況に関する評価】

自治体や観光連盟等を中心に、首都圏や海外での東北のPRが行われている。
大学やボランティアなど様々な主体との連携による人材の育成が行われている。

中目標におけるアウトカム指標評価結果				大目標におけるアウトカム指標評価結果			
アウトカム指標 (施策の代表指標)	平19	平20	平21	アウトカム指標	平19	平20	平21
【代表指標】 冬季来訪率 (出典)宿泊旅行統計	21.7 (%)	22.4 (%)	-	東北6県の 宿泊者数 (百万人) (出典) 宿泊旅行統計	29.1	28.0	-
【代表指標】 教育旅行者数・件数 (出典)各年度アンケート調査 岩手県、宮城県、山形県、福島県、 仙台市の合計による	1,330 (千人)	1,295 (千人)	-				
【代表指標】 観光学科等設置数 (出典)東北地方各大学 ホームページ	2 (校)	3 (校)	3 (校)				

【アウトカム指標達成状況に関する評価と今後の取組方向性(案)】

中目標は全て増加したものの、大目標である東北6県の宿泊者数は減少した。今後は東北地方での長期滞在を促進する施策の継続的な取組が必要である。

3. 外国人観光客の来訪及び国際相互交流の促進

大目標	中目標	施策	平成21年度の主な実施施策	施策実施による効果
外国人観光客の来訪及び国際相互交流の促進	外国人観光客の来訪促進	海外からの「東北ツアー」の造成に向けた取組の促進	<ul style="list-style-type: none"> 台湾、香港における現地コーディネートターの設置 VJC 地方連携事業として海外の旅行エージェント、メディア招請、テレビ放送による宣伝事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 冬の蔵王を中心としたツアー商品の造成。台湾、香港、豪州からの観光客の増加(山形県) 宿泊数の拡大(秋田県)
		海外の一般消費者に対する情報提供・予約等の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 4言語でのホームページ作成 自治体等によるホームページの多言語化 台湾向け web マガジンの制作 国際旅行博への出展 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページアクセス数の増加 ホームページや web マガジンによる台湾での認知度向上
		外国人観光客が旅行しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 多言語パンフレットの作成 空港のレンタカーに外国語音声のカーナビの導入 英語、韓国語、中国語に対応可能な人材をアドバイザーとして配置、セミナーの実施 表示の多言語化について調査、実証実験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加(英語カーナビ付レンタカーへの申し込みの増加) 多言語化情報提供のガイドラインの作成
		国際会議等の誘致・開催	<ul style="list-style-type: none"> 「MICE 促進フォーラム」の開催 	-
	国際相互交流の促進	世界に開かれた観光交流	<ul style="list-style-type: none"> JTB 東北パスポートキャンペーンの継続実施 空港を活用した海外交流活動への助成を継続実施 	-
		姉妹都市連携	<ul style="list-style-type: none"> 観光姉妹都市との相互交流の継続実施 	-
		訪日教育旅行	<ul style="list-style-type: none"> 「訪日教育旅行誘致部会」の設置 VJC 事業による韓国、台湾、シンガポールでの誘致事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 訪日教育旅行の招致(シンガポール及び韓国より教育旅行の受入依頼) 交流の推進

【施策実施状況に関する評価】

ホームページ等による外国語での PR など外国人観光客の誘致に向けた取組が実施されている。東北居住者の渡航に向けた取組は、外国人観光客の誘致に向けた取組ほど多くはみられないものの、姉妹都市連携などが進められている。

中目標におけるアウトカム指標評価結果				大目標におけるアウトカム指標評価結果			
アウトカム指標 (施策の代表指標)	平19	平20	平21	アウトカム指標	平19	平20	平21
各県観光ホームページにおける多言語対応サイト数 (出典)各県HP調べ	-	-	6	東北6県における訪日外国人旅行者数 (万人) (出典)東北運輸局 (推計値)	40.2	34.6	-
東北の各空港における国際チャーター便利用者数 (出典)東北運輸局、各空港統計情報	85 (千人)	69 (千人)	68 (千人)				
通訳案内士数 (出典)観光庁資料	159 (人)	182 (人)	207 (人)				
国際会議開催件数 (出典)JNTO	2 (件)	8 (件)	-				
東北地方居住者パスポート保有率 (出典)「旅券統計」外務省領事局旅券課	14.3 (%)	13.9 (%)	13.1 (%)	東北6県における国際会議の開催件数 (件) (出典)JNTO	2	8	-
東北地方居住者の渡航率 (出典)出入国管理統計、住民基本台帳より東北運輸局推計	4.9 (%)	4.4 (%)	- (%)				
姉妹・友好都市数 (出典)日本の姉妹都市自治体一覧	179 (件)	180 (件)	182 (件)				
訪日教育旅行件数、旅行者数 (出典)東北運輸局、各県統計情報 山形県、福島県の合計による	21 (件) 957 (人)	23 (件) 834 (人)	13 (件) 736 (人)				

【アウトカム指標達成状況に関する評価と今後の取組方向性(案)】

平成20年の訪日外国人旅行者数は、平成19年から5.5万人程度減少し、評価基準年の平成18年よりも少なくなっている。一方で、通訳案内士数や国際会議件数は増加しており、これらの継続的な取組により外国人旅行者の増加に繋げていく必要がある。

国際会議開催件数は増加したが、東北居住者のパスポート保有率、渡航率共に低下しており、国際相互交流を促進する施策が求められる。

4. 東北地方への来訪促進のための環境整備

大目標	中目標	施策	平成21年度の主な実施施策	施策実施による効果
東北地方への来訪促進のための環境整備	な環境及び良好な景観の保全	観光地における環境の保全	・「地域いきいき観光まちづくり2009」に地域づくりのノウハウとして成功・先進例の紹介	-
		良好な景観の保全	・景観行政団体増加に向けた取り組みの実施 ・仙台市「杜の都」景観計画による景観づくりへの規誘導	-
	観光旅行者の利便の増進	情報通信技術の活用	・データベース機能を有する新観光情報サイト構築 ・着地型観光の専用ページ「ふくしま AVITTO」、地域記者ブログによるきめ細やかな情報提供	・ホームページアクセス数の増加
		国内旅行における中高年齢層の需要拡大に伴う対策の強化	・「駅長オススメの小さな旅」「駅からハイキング」における観光ガイドの活用 ・スノーシュートレッキングと列車乗車を組み合わせた企画の実施 ・沿線でのウォーキング大会やトレッキングツアーの実施	・ウォーキングイベントによる旅行客の誘致 (JR 東日本 約9千人)
	新たな観光旅行の分野の開拓	長期滞在型観光	・観光圏認定エリアを中心に連泊プラン、滞在プログラムの進展	-
		エコツーリズム	・奥入瀬エコツーリズムプロジェクト(マイカー規制期間中のエコツアーの試行)と、十和田奥入瀬認定ガイド養成講座の実施	・公共交通利用の増加 (シャトルバス乗降者数 2487人)
		グリーンツーリズム	・あおもりツーリズムを推進のため、達者村へのアドバイザー派遣 ・福島県ふるさと子ども夢学校推進協議会を設置、受入体制の充実強化、情報発信等の実施	-
		文化観光	・太宰治生誕100年を記念したタイアップキャンペーンや野外劇の実演等 ・「会津・米沢仏都周遊」マップ作成し情報発信等	・文豪ゆかりの地巡り等の増加
		産業観光	・秋田バイオエタノール施設と連携した教育旅行、視察旅行の開発 ・市内の食品工場等を組み込んだツアーを市民向けに造成 ・リサイクル産業を中心とした観光振興を実施	-
		ヘルスツーリズム	・「健康づくり」をテーマにした旅行の提案 ・温泉の活用併せウォーキングによる健康メニューの商品造成の実施支援	・温泉とウォーキングを併せた滞在メニューの造成
	接遇等の向上	その他のニューツーリズム	・ゴールドスランパー、藤沢周平映画、「おくりびと」、韓国ドラマ「アイリス」等のロケ地情報等発信 ・栗原市のロケ地(佐野住宅)のPRと定期観光バスコースの設定、せんたい・宮城フィルムコミッション参加	・ドラマロケ誘致による韓国での認知度向上(秋田県) ・ロケ地巡りへの誘客 (「おくりびと」11万人)
		案内表示の充実等	・高速道路SAなどにおける観光案内板の整備 ・デジタルサイネージによる実証実験の実施	-
		接客マナー講習会等	・「観光ホスピタリティ向上セミナー」等の開催 ・自治体の観光行政担当者を対象とした観光基礎講座の開設	・ホスピタリティ向上への寄与
	その他		-	-

【施策実施状況に関する評価】

自然をはじめとした観光資源を活かした取り組みが実施されている。地元との協働などが図られ、様々な主体によって取り組まれている。

中目標におけるアウトカム指標評価結果				大目標におけるアウトカム指標評価結果			
アウトカム指標 (施策の代表指標)	平 1 9	平 2 0	平 2 1	アウトカム指標	平 1 9	平 2 0	平 2 1
【代表指標】 環境・景観・屋外広告物条例制定都市数 (ただし、A級以上の観光資源・伝建地区 等のある市町村のみ) (資料)各年アンケート調査	環境 35 景観 18 広告 2	環境 35 景観 19 広告 3	環境 35 景観 23 広告 4	東北6県 における 外国語対応 可能な ビジット・ ジャパン 案内所」 (箇所数) (出典) 東北運輸局	32	33	33
【代表指標】 東北観光推進機構ポータルサ イトへのアクセス数 (資料)各年アンケート調査	1,514 (件) (1-3月)	25,609 (件) (4-3月)	72,093 (件) (4-1月)				
【代表指標】 第2種・第3種旅行業登録数 (資料)各年アンケート調査	第2種 225 (団体) 第3種 251 (団体)	第2種 233 (団体) 第3種 246 (団体)	第2種 227 (団体) 第3種 240 (団体)				
【代表指標】 フィルムコミッション誘致件数 (資料)各年アンケート調査 岩手県、宮城県、青森県、仙台市の 合計による	57 (件)	52 (件)	52 (件)				
【代表指標】 接遇研修実施件数、受講者数 (資料)各年アンケート調査	41 (件) 881 (人)	47 (件) 809 (人)	74 (件) 2,607 (人)				
各県市携帯サイトによる災害等 発生時情報提供サイト数 (資料)各年アンケート調査	6 (件)	6 (件)	7 (件)				

【アウトカム指標達成状況に関する評価と今後の取組方向性(案)】
「ビジット・ジャパン案内所」数は、平成19年と比較して増加した。
中目標のアウトカム指標は概ね増加しており、取り組みを継続していく必要がある。

